

作成日：2023/7/10

作成者：村武 宏紀

## 議事録

日付	2023/7/7	時間	15:00~16:00
場所	さいたま共済会館 505 会議室	出席者	下記参照
議題	(一社)埼玉県環境産業振興協会 青年部会・県産業廃棄物指導課との座談会		

### 内容

#### (出席者)

埼玉県 堀口課長、相良副課長、田中主幹、牧嶋主査、佐藤主幹、野平主幹、宮部主査、渡辺技師  
青年部 半田専務理事、金子常務理事、石田部長、斉藤部会長、千田統括幹事、岡崎副部会長、遠藤副部会長、鈴木拓海副部会長、原副部会長、北島幹事、野崎幹事、廣瀬、小久保、鈴木空道、村武  
計 15 名

#### 1.開会(斉藤部会長)

#### 2.課長挨拶(堀口課長)

青年部との座談会に感謝する。担当官に加えて選りすぐりの職員を連れてきた。青年部とは向いている方向が一致していると考えている。資源の採掘や精製から発生する CO2 が全体量の半分との事。資源循環という観点で廃棄物処理業の役割は大きいと考えている。今日も有意義な議論ができるよう期待する。

#### 3.協会挨拶(半田専務理事)

業界を背負って立つメンバーが揃っている。規制する側・される側というところで、私たち側から歩みよるのはまだまだ敷居が高いのが実態である。今回のコミュニケーションを通じて双方相談しやすい環境を作り、業界の底上げを図ってきたい。

#### 4.議事録作成者の確認(広報対外事業委員会、村武)

#### 5.出席者、欠席者の確認(敬称略)

相良副課長 今年 4 月から産廃指導課。お互いの立場の垣根を超えた議論を行いたい。

田中 許認可関係を担当している。

牧島 審査担当。4 年目。

佐藤 積み替え保管無しの収集運搬業担当。

野平 西部環境管理事務所、北部環境管理事務所に勤めていた経験有り。

宮部 監視指導撤去担当、協会担当。

渡辺 今年度配属。ステージアップ 3 S 担当。

#### 6.議事(斉藤部会長)

①県・青年部会共催による社会貢献事業に関して

<青年部事前アンケート調査結果説明>

↓

<堀口>

県民の日のブース出展はPRの場として最良である。

環境教育の普及啓蒙については他の課と話してみることはできる。埼玉大学等に声をかけることはできる。

Q&A、他自治体で充実しているものもある。公開しなくても事業者の皆様と共有するのも有効と考える。

<田中> 去年もQ&A作成の議題が上がった。Qを青年部で作る、Aを県が作るのがいいと思う。

<斉藤> 地区懇談会前に意見を徴収してまとめるのはどうか。⇒<石田> 可能である。

<北嶋> 一般の人にも理解しやすいものもまとめオープンにするのはどうか。PRにもなる。

<斉藤> 業者向けのモノと、県民向けのモノを作成しても良いかもしれない。

<半田> 教育について、出前講座は増えている？⇒<堀口> コロナ蔓延の影響もありほとんど無い。

<半田> 県政出前講座というものがあり、それに載せるのはどうか。学校から指導課に申し込む形になる。それを青年部が教育する。それはできる。大学とのコラボレーションについては、千葉県が跡見女子大学と実施した。埼玉大学、日本工業大学とコラボして施設見学やディスカッションをしてみてもどうか。

<斉藤> 山口県青年部は県内の大学と一緒に事業を行い、全産連青年部に表彰された。

<堀口> チームを作って動いていきたい。放射線テーマの時は年間何十回もやった。若い人とチームを作って取り組んでいきたい。

<斉藤> 環境教育と問答集作成については今後進めていきたい。

<野平> 地域清掃については資源循環推進課HPで公表しているものがある。

Q & A 9 都県市でまとめたホームページがあるが、たどり着かない・・・

#### 【共催による社会貢献事業についてのまとめ】

##### ① 小学生向け環境教育「出前講座」

⇒県政出前講座というものが学校から指導課に申し込む。それを青年部会が支援する。

##### ② 大学生向けの観光産業に関するディスカッションの場を作っていく

⇒埼玉大学、日本工業大学とコラボして施設見学やディスカッションをしてみてもどうか。

##### ③ 産業廃棄物に関するQ&A

⇒Qを青年部で、Aを県が作るのが良い。業者向けと県民向けのモノを作成するのも良い。

#### ② 3S運動推進支援としてどのような活動が挙げられるか

##### 【3S運動推進支援についてのまとめ】

事前アンケートにあった「地区懇談会でのPR・啓蒙活動」と「受賞企業への訪問」が現実性がありそうと判断。また事業者向けのパンフレットやポスター、ステッカーの製作等も協力して行なっていく。

昨年度実施した廃棄物指導課との合同見学会があったが、今年度は受賞企業への訪問という形で検討してみても良いかもという意見があった。

#### ③ 県民の日ブース出展について

去年1ブース、今年2ブース 拡張して行く。

<青年部事前アンケート調査結果説明>

↓

<渡辺> 昨年度とほぼ同じ場所で二ブース確保した。ただ、重機やパッカー車展示は別の場所で可能である。稼働させることは難しい。展示はキャッチーで良いと思う。

<宮部> 重機や車両が前日からの貸し出しとなるが大丈夫か⇒<斉藤> 可能である。

<堀口> 運転席に乗るだけでも実行不可能か？

<野平>アームロールコンテナ脱着させたい。場所が少し離れているので、誘導が必要になるかもしれない。

<半田>行政と業者が共同で行うアンケートはとても良く、続けてもらいたい。

<野平>やらないという選択肢はない。

<宮部>同じ質問をしてアンケートが有効かどうか。

<野平>内容を変えるか。聞いてみたいアンケート内容ってあるだろうか。

<北嶋>リピーターは多いのか。多いのであれば同じ質問もありだろうと考える。

<千田>ご両親がこの仕事についているか調べたらどうか。

重機使わない分別もいいのではないかと。子供たちの未来を教えるべき。

<齊藤>どういうコンセプトでやっていくか。

<宮部>分別ゲーム、リサイクルクイズ。

<牧島>深谷のアウトレット、赤城乳業 PR スペース人気があった。一般廃棄物分別良いと思う。

<佐藤>重機は子供が喜ぶ。多少離れていても案内すれば言ってくれる。

<堀口>写真を撮ってブースに貼ってみたらどうか。

#### 【県民の日ブース出展についてのまとめ】

今年は昨年より1ブース分拡張の2ブース分での出展となり、**重機 or 車両展示スペースも出展ブースと少し離れた所で展示可能**となる。

上記各人の意見を踏まえ、社会貢献事業委員会中心に内容をまとめ、本件出展までの窓口・廃棄物指導課：宮部氏と擦り合わせながら準備を進めて行く。

⇒8月末までに出展内容を明確にし、順次準備を始めていく予定

**例年の事業に重機展示、クラフトペーパー制作、ゴミ分別クイズなどを加える**

#### ④その他意見交換

##### (1) 改良土の現場利用について

<廣瀬>4000-5000m<sup>3</sup> シールド工事だと発生する。県土整備事務所管轄であろうが…。特記仕様書上リサイクル施設に持ち込むようにとご指定頂いているが、リサイクル後の販売先がないのが現状であり、困っている。

<堀口>国道交通省が旗振りはしているが、現場は違うのは分かっている。課題として話を通してみる。

<廣瀬>本当のリサイクルを進めていきたい。

<堀口>東京発埼玉処理、リサイクル品をどこで使うのかという問題もあつたりする。

##### (2) 重金属を含む汚泥処理

<野崎>建設汚泥でも自然由来のヒ素が混入するケースがある。脱水してセメント原料として搬出している。

<牧島>不溶可の処理は個人的に良くないのではないかと考える。

<半田>汚染土壌ではないか？

<野崎>自然由来の汚泥として取り扱っている。

<相良>土壌汚染対策法適用でやるべきでは？

<野崎>排出事業者によって土壌汚染対策法、廃棄物処理法どちらで処理するかを選んでいるケースがある。

<相良>具体的な事例に従って相談しながら進めていきたい。

<齊藤>結論が出たもの、そうでないものがあるが、一つ一つ進めていく。

#### 7.閉会(原副部会長)

本日の貴重な意見交換ありがとうございます。業界のイメージアップも含め、今後ともよろしくお願いいたします。

<部会長所見>

近年継続的に行っている座談会だが、今年は事前アンケートの効果もあって有意義な議論が進められたと思う。行政関係の皆様にとっても我々にとっても非常に刺激になる会となったのではないか。実際今年度も行われる3S 推進運動や県民の日ブース出展に対しても実行可能な貴重な意見が多数得られた。次年度はこの議論の中で出た内容を元にして実際の共催事業を一つでも二つでも生んでいけたら良いと考えている。事前の準備段階から段取りをしていただいた委員会の皆様、ご協力いただいた協会の皆様、大変ありがとうございました。

